令和4年度 福井県立道守高等学校　定時制　学校関係者評価書

（問）
・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
・成果と課題を踏まえた改善策・向上策が適切かどうか。
・その他

（ご意見をお聴きした方々）
・福井県立道守高等学校教育振興会　　会長　鈴木　宏治　氏
・福井県立道守高等学校同窓会　　会長　平山　吉男　氏
・福井県立道守高等学校福信会　　会長　服部　悟　氏
・福井県立道守高等学校育友会　　会長　上島　晴美　氏

（ご意見欄）
〇学習指導
・生徒の学力差も大きく、学習に向かう気持ちにも大きな差があると思うが、個別最適な学びの充実を図っていただき、配布プリントや考査問題等へのルビ振りやタブレットなどのＩＣＴ機器の活用、ＡＩ教材の利用など、生徒の興味関心を高め、わかりやすい授業に努めてくれたことに高い評価をする。
・生徒の学習状況や欠席状況を保護者に連絡して学校と家庭で情報を共有してくれたことは評価する。
・学習の理解度や意欲に関する項目における生徒および保護者の成果指標「ａ」の割合は、昨年度よりも増加しているがまだ十分とはいえない。さらなる努力をお願いしたい。

〇生徒指導
・学校行事や生徒会行事に積極的に参加・活動ができていたのは素晴らしいと思う。また、男子バレーボール部が全国大会3位に入賞するなど立派な成績を残していることに感謝する。部活動への参加者数が減少傾向にあるとのことだが、より多くの生徒が活動に興味を示すような取組を願う。

〇進路指導
・進路指導は本人の希望だけで決まるものではなく、企業の要望と相談しながら生徒の希望を叶えていかないといけないので大変だと思う。生徒と企業の接点を増やす取組をお願いしたい。
・発達障がい等があって通常の就職が困難な生徒も多いと思われる。本人や家族に障がいを受容できるかという課題はあるが、福祉的な進路を含めた対応をお願いしたい。
・卒業後に進路が決定していない生徒への対応をお願いしたい。福祉施設や他の教育機関につなげる事も含めて検討してほしい。

〇ＩＣＴの活用
・今の時代ＩＣＴ機器の活用は就職に必須条件と考えてもいい。この世界はめまぐるしく進歩しているので、毎日のように使っていないと時代において行かれる。これから就職・進学をする生徒のため、さらなる指導の充実を願う。
・タブレットの活用による在宅学習について考えをまとめて推進してほしい。感染症や災害、不登校対策として有効と考えられる。

〇読書活動の推進
・生徒に対して、推薦図書の取組や図書だより、希望図書購入などを通して生徒の意欲・関心を喚起するなど努力していることに評価する。また、図書館の展示や廊下での推薦図書等の掲示、読書マラソンなど「読書に対する興味関心を持たせる」ことへの具体的取組は高く評価する。
・生徒の活字離れは深刻だと思うが、授業やＬＨでの図書館利用や図書室へのＩＣＴ機器導入など、さらなる工夫をお願いしたい。

〇心身の健康管理
・コロナ禍にあって、登校時に、毎日、検温・手指消毒とマスクの着用の指導を行っていただいたことに保護者として感謝する。
・ゴミの分別ができており、清掃にも真面目に取り組んでいるようで良いと思う。

〇メンタルケアの充実
・普段から生徒とのコミュニケーションを図り不安や悩みを受けとめ心のケアに努めていただいていることがうかがえる。職員の皆様のご指導に感謝する。今後ともスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、より多くの生徒が安定した学校生活が送れるようお願いしたい。
・発達障がいが重くて進路が定まらない生徒も含めて、外部の専門機関と連携して「どこにもつながらない状態」を避けるよう努力してほしい。

〇連携
・学校からの情報提供を確認している保護者が昨年よりも増えていて、目標値を超えていることから、学校の努力がうかがえる。生徒への支援の充実のためにも、今の状況を継続してほしい。

〇全体（総括）
・本校の取組みに対して、高い評価をいただいた。
・外国にルーツを持つ生徒や不登校経験者、発達障がいを抱える生徒など多様な生徒が入学している現状があり、指導は大変だと思うが、個別最適な学びの充実を図り、個に寄り添った支援を行ってほしい。
・担任、教育相談担当者、養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーがチームとなって取り組む支援体制をとるとともに、家庭や関係機関との連携を充実させてほしい。

〇学校関係者評価を踏まえた今後について
・今回いただいた各委員からのご意見やご指摘を真摯に受けとめ、次年度のスクールプランや具体的取組みの設定に生かしていきたい。また、コロナ禍の対応としてだけでなく、個別最適な学びを充実させるために、ＩＣＴ機器（タブレット）を利用したオンライン授業などの研究も進めていきたい。
・生徒たちがよりよい学校生活が送れるよう、一人ひとりの個に応じたきめ細やかな指導ができるよう、全教職員が一丸となって、保護者や関係者の方々と連携して取り組んでいきたい。